



ナマズの知恵袋

平成 27 年 (2015 年) 1 月 1 日
編集・発行 滋賀県立図書館

“賞・章” について調べる



2014 年のノーベル物理学賞は、日本人 3 人が受賞しました。過去には、誰がどんな功績で受賞したのか、知りたくなった方も多いのではないのでしょうか。今回は、国内外のさまざまな賞について、その概要や受賞者などを調べる方法、代表的な賞に関連する資料を紹介합니다。

どんな賞があるのですか？

■『世界の賞事典』 日外アソシエーツ編刊 2005 年 [R-3777-ニ]

海外の主要 50 賞を調べることのできる事典です。自然科学から、美術、音楽、映画、演劇、文学などさまざまな分野の賞を収録しています。各賞の概要と第 1 回からの全受賞者を掲載し、個人の受賞歴がわかる「受賞者名索引」が付いています。

■『日本の賞事典』『日本の賞事典 2005-2012』 日外アソシエーツ編刊 2005・2012 年 [R-3777-ニ]

国内の賞はこちらで調べることができます。国内の主要 200 賞について、こちらも概要と第 1 回からの全受賞者を掲載。索引も付いています。『日本の賞事典 2005-2012』には、新たに創設された賞、結果が特に注目されるようになった 6 賞（環境負荷低減に配慮した製品・サービスを表彰する“エコプロダクツ大賞”など）が加えられています。

勲章と褒章の種類を知るには？

■内閣府 HP 勲章・褒章制度の概要

<http://www8.cao.go.jp/shokun/>

栄典制度の沿革、勲章・褒章等の種類と褒章の色分け、授与対象などを見ることができます。

■『勲章と褒章 新版』 佐藤正紀著 全国官報販売協同組合編刊 2014 年 [G-3175-サ]

勲章・褒章制度の概要や歴史、製作工程、外国の勲章制度についても書かれています。

■『紅・緑・藍綬褒章名鑑』(明治 15 年—昭和 29 年を収録)『紺綬褒章名鑑 自大正 8 年至昭和 16 年』『同 自昭 17 年至昭和 22 年』『紺綬褒章名鑑(団体) 自大正 10 年至昭和 22 年』 総理府賞勲局編 大蔵省印刷局 1980 年～1988 年 [2-3175-ソ]

■『日本の勲章』 総理府賞勲局 1989 年 [RB-3175-ニ]

勲章、褒章及び銀杯・大杯の解説と実物大の写真が載っています。着用の説明もあります。

■『勲章の社会学』 小川賢治著 晃洋書房 2009 年 [3-3175-オ]

日本の栄典制度とイギリス・フランス・ドイツ・アメリカの栄典制度が書かれています。

■『勲章 知られざる素顔』 栗原俊雄著 岩波書店 2011 年 [G-3175-ク]

勲章制度の始まりから現在までの変遷がわかります。製造現場の様子や、遺族によって売買されている実情についても書かれています。

■『造幣 125 年のあゆみ』 造幣局 125 年史編集委員会編 造幣局泉友会 1996 年 [2B-3374-ツ]

造幣事業の 125 年の変遷が当時の写真とともに説明されています。記念貨幣や勲章製造の歴史についても載っています。

* “賞” と “章” について *

“賞” はほめ与える金品、ほうびを意味します。一方
“章” は資格や身分などを示すしるしを意味しています。
(『広辞苑』[R-8131-ツ] 『国語辞典(集英社)』[R-8131-ト])

勲章は大阪造幣局で
製造されています。

受章者は、官報の「叙位・叙勲」「褒章」の項に掲載されます。

2階参考資料室のデータベース、“官報情報検索サービス”で 1947 年 5 月 3 日から調べることができます。



ノーベル賞



■『ノーベル賞受賞者業績事典 全部門 855人 新訂第3版』

ノーベル賞人名事典編集委員会編 日外アソシエーツ 2013年 [R-3777-ノ]

創設から2012年までの平和賞、文学賞、物理学賞、科学賞、生理学医学賞、経済学賞の全6分野の受賞者・受賞団体を収録。経歴、受賞理由、著作、参考文献などを掲載しています。

■『ノーベル賞受賞者人物事典 物理学賞・化学賞』 東京書籍編集部編 東京書籍 2010年 [R-4203-ト]

物理学賞、化学賞の受賞者について年代順に、その生涯と業績について解説しています。

■『ノーベル賞の事典』 秋元格著 東京堂出版 2014年 [G-3777-フ]

物理学賞、化学賞、生理学・医学賞について、各年の受賞者の研究内容を専門外の人でも理解しやすいように解説しています。その他3賞についても、受賞者リストを掲載しています。

■『ノーベル賞講演 生理学・医学 全15巻』 ノーベル財団著 川喜田愛郎ほか編 講談社 1984～1985年 [2-4904-1～15]、『ノーベル賞講演 物理学 全12巻』 中村誠太郎編 講談社 1978年～1980年 [2-4208-1～12] 生理学・医学賞は1979年まで、物理学賞は1976年までの受賞者について年代順に、受賞のことは、記念講演、経歴を収録しています。

■『イグ・ノーベル賞』 マーク・エイブラハムズ著 福嶋俊造訳 阪急コミュニケーションズ 2004年 [G-0493-エ] 『もっと！イグ・ノーベル賞』 マーク・エイブラハムズ著 福嶋俊造訳 ランダムハウス講談社 2005年 [G-0493-エ] 人を笑わせ、考えさせた業績に贈られるイグ・ノーベル賞。「パウリング」など、日本人も多数受賞。

主だった歴代受賞者およびその研究内容を紹介しています。

芥川賞・直木賞



■受賞者・受賞作品は『日本の賞事典』や、『最新文学賞事典 2009-2013』日外アソシエーツ編刊 2014年 [R-9102-ニ] (『同 [～1988]』より所蔵) で第1回 (1935年) から第150回 (2013年下半期) まで調べることができます。また、受賞作や選考結果は雑誌「文藝春秋」(芥川賞)、「オール読物」(直木賞) 3月号・9月号に掲載されます (いずれも文藝春秋発行)。

■『芥川賞全集 全19巻』 文藝春秋 1982年～2002年 [G-9138-19 ほか]

第125回 (2001年上半期) までの受賞作を年代順に収録。選評、受賞のことは、受賞者年譜もあわせて掲載されています。

■『芥川・直木賞 1992年版』 芥川・直木賞受賞者総覧編集委員会編 教育社 1992年 [3-9102-フ]

第102回 (1989年下半期) までの受賞者の経歴や選評の一部を紹介しています。

■『消えた受賞作 直木賞編』 海音寺潮五郎 [ほか] 著 川口則弘編 メディアファクトリー 2004年 [G-9138-キ] 受賞作のうち、特に入手困難な9作を収録。コラム「直木賞意外史」で賞の裏話もわかります。

■『芥川賞物語』『直木賞物語』 川口則弘著 バジリコ 2013年・2014年 [G-9102-カ]

芥川賞は第147回 (2012年上半期)、直木賞は第149回 (2013年上半期) までの受賞作、候補作、選考にまつわるエピソードをまとめています。

滋賀県内の主な賞



■『滋賀県文化賞 平成25年度』 [滋賀県] [2013年] [SB-7000-13]

県の文化の向上・発展のため、輝かしい功績をあげた個人や団体に贈られる賞。

■『生態学琵琶湖賞報告書 第14回 (2007)』 滋賀県琵琶湖環境部環境政策課編 滋賀県 2008年 [SB-4680-14] 水環境に関連する生態学および周辺分野の優れた研究者に贈られる賞。第14回までは県が、第15回からは日本生態学界が主催しています。

■文化で滋賀を元気に！賞 地域を元気にする活動に取り組む団体・個人に贈られます。文化・経済フォーラム滋賀主催。

■自治体主催の文学賞も。『花登笹文芸奨励賞優秀作品集 第28回』 大津市 2014年 [S-9011-28] 『舟橋聖一文学賞・舟橋聖一顕彰文学賞受賞録 平成25年度』 彦根市編刊 2014年 [S-9051-13] どちらも第1回から所蔵しています (「舟橋聖一顕彰文学賞」は賞の名前に変遷があります)。

関連のHPからも過去の受賞者などが確認できます